

地域と共に

150年

市内にある、「丸佐運送合資会社」・「株式会社浅利佐助商店」・「千歳盛酒造株式会社」の3社が今年で創業150周年を迎えました。3社は明治5年に開業し、現在に至るまで時代に適した事業展開で、長年にわたり地域と共に歩んできました。

各企業の歴史を振り返りながら、事業者のこだわりや今後目指す企業像を紹介します。

問 政策企画課 政策推進班
☎ 30・0205

150年前（明治5年）の 主な日本の出来事

- ・岩倉使節団がアメリカのボストンからイギリスへ。ロンドンにてヴィクトリア女王に面会
- ・全国に郵便が施行
- ・日本初の鉄道が正式開業
- ・仙台県が宮城県に改称
- ・品川駅や横浜駅、川崎駅、神奈川駅が開業
- ・ラムネ飲料の製造が許可

MARUSA

どんなものでも安全にスピーディーに 未来へと運ぶ

丸佐運送合資会社は、明治5年に岡田鉦山（三菱尾去沢鉦山の前身）の下請け業者として、北秋田郡比内町（現・大館市比内町）に「佐藤運送店」として創業しました。

当時は、駄馬と川舟による輸送が主な輸送方法でしたが、明治40年になると、秋田鉄道が大館から扇田駅まで開通し、主な輸送方法を川舟輸送から鉄道輸送に切り替えました。尾去沢鉦山から扇田駅間は、約400台の4輪荷馬車で輸送していました。

大正4年に鉄道が尾去沢駅（現・土深井駅）まで延長になり、尾去沢から土深井駅まで軌道を敷設し、馬車軌道により輸送しました。

昭和6年の花輪線全線開通に伴い、馬車軌道を廃止し、尾去

沢鉦山から陸中花輪駅（現・鹿角花輪駅）間のトラック輸送を開始しました。昭和12年には、小運送事業者免許を受けるとともに、貨物自動車運送業を開始しました。

昭和14年、本社を鹿角市花輪に移転し、社名を「佐藤運送合資会社」に変更しました。

昭和30年に「丸佐運送合資会社」に社名変更しており、昭和53年の三菱尾去沢鉦山の閉山に伴い、事業内容を鉦山関連の運搬から、東北自動車道建設に係る運搬や、食品運搬に移行しています。

平成31年に、本社と本社営業所を鹿角花輪駅前から現在地に移し、「丸佐運送本社」に変更しました。

株式会社浅利佐助商店

所在地：花輪字観音堂 27 番地 3
代表取締役社長：浅利 滋
ホームページ：https://www.fukuzyu.com
連絡先：☎ 23-3127

丸佐運送合資会社

所在地：花輪字上中島 35 番地 1
代表社員：佐藤 邦治
ホームページ：https://www.e-marusa.com
連絡先：☎ 23-3346

千歳盛酒造株式会社

所在地：花輪字中花輪 29 番地
代表取締役社長：村上 雅彦
ホームページ：https://www.chitosezakari.jp
連絡先：☎ 23-2053

代表社員 佐藤 邦治さん

丸佐運送合資会社は、皆さんのお力添えをいただき、明治5年の創業から150年を迎えることができました。

トラックは現在、国内総貨物量の9割以上を担う、国民生活を支えるライフラインとして、なくてはならない大きな産業の一つです。舟輸送から始まり、馬車、貨物自動車と時代に沿った配送方法を模索し、変化し続けてきました。

今後も、安全でスピーディーな運送を心がけ、**市内の物流を支え続けます。**地域の方々が望んでいることを問い続け、行動し続けることで**未来に繋いでいきます。**

